

問1 1866年、対立していた薩摩藩と長州藩を仲介し、両者の和解を実現させた土佐藩出身の人物は誰？

1. 坂本龍馬 2. 大久保利通 3. 木戸孝允 4. 西郷隆盛

問2 1854年にアメリカと開国の交渉を行い、日米和親条約を結んだ当時の日本政府を何という？

1. 江戸幕府 2. 明治政府 3. 鎌倉幕府 4. 室町幕府

問3 アメリカがペリーを派遣するきっかけとなった、1840年に清がイギリスと戦った戦争を何という？

1. 日露戦争 2. アヘン戦争 3. 日清戦争 4. アロー戦争

問4 1861年に始まったアメリカ南北戦争の最中に、奴隷解放宣言を行い、国家の統一を訴えた大統領は誰？

1. ワシントン 2. グラント 3. ジェファソン 4. リンカーン

問5 1860年、大老の井伊直弼が水戸藩の浪士らによって江戸城桜田門外で暗殺された事件を何という？

1. 池田屋事件 2. 禁門の変 3. 桜田門外の変 4. 寺田屋事件

問6 幕府が1825年に出した、近づいてくる外国船を武力で追い払うように命じた法令を何という？

1. 禁教令 2. 異国船打払令 3. 日米和親条約 4. 修好通商条約

問7 金貨流出を防ぐため、幕府が金の含有量を減らして鑄造した通貨を何という？

1. 小判 2. 丁銀 3. 一分銀 4. 豆板銀

問8 ペリー来航の結果、1854年に日本がアメリカと結んだ開国のための条約を何という？

1. 神奈川条約 2. 下田条約 3. 日米和親条約 4. 日露和親条約

問9 幕末の貿易開始後、輸出品が大量に外へ出たことや通貨の価値が不安定になったことで、国内の品物が不足し、物価が急騰した現象を何という？

1. 買いだめ 2. 品不足 3. 輸出過多 4. 大量生産

問10 幕末の政治思想で、天皇を敬い大切にするという考えを何という？

1. 佐幕 2. 公武合体 3. 開国 4. 尊王

問11 坂本龍馬が土佐藩主に対して説いた、徳川幕府が天皇に政権を返すべきだという政治的な方針を何という？

1. 版籍奉還 2. 王政復古 3. 廃藩置県 4. 大政奉還

問12 幕末に幕府が出した方針で、日本近海に現れる外国船に対して帰港を促すために、水と共に与えることとした資源を何という？

1. 衣料品 2. 燃料 3. 食料 4. 飲料水

問13 坂本龍馬が仲介し、1866年に薩摩藩と長州藩の間で結ばれた軍事同盟を何という？

1. 開国進取 2. 薩長同盟 3. 公武合体 4. 尊王攘夷

問14 19世紀、欧米列強がアジア近海で航行するために不可欠とし、燃料補給地を求めて日本への開国要求を強める要因となった船舶を何という？

1. 商船 2. 帆船 3. 蒸気船 4. 軍艦

問15 1866年、坂本龍馬の仲介によって薩長同盟を締結した、薩摩藩の指導者は誰？

1. 大久保利通 2. 西郷隆盛 3. 桂小五郎 4. 木戸孝允

答え合わせ・解説

問1	答え 1 坂本龍馬	土佐藩を脱藩した坂本龍馬は、倒幕のためにはこの二藩の協力が必要であると考えました。そこで、両藩の指導者たちを引き合わせ、1866年に薩長同盟を成立させました。また、海援隊の前身となる亀山社中を作り、貿易や輸送にも力を注ぎました。
問2	答え 1 江戸幕府	江戸幕府は、将軍を頂点とした封建制度で、中央集権的な統治を行っていました。1854年、アメリカのペリー来航を受けて日米和親条約を締結し、長い鎖国体制を終わらせました。
問3	答え 2 アヘン戦争	清政府がアヘンの取り締まりを強化したことに反発し、イギリスが武力で開国を迫ったことで勃発しました。近代的な軍事力を持つイギリスの前に清は完敗し、南京条約を結んで香港の割譲や開港を余儀なくされました。
問4	答え 4 リンカーン	リンカーンは奴隷制の拡大に反対する立場から大統領に選ばれました。1861年に南北戦争が始まると、彼は1863年に奴隷解放宣言を出し、戦いの目的を単なる国家統一から人道的な奴隷解放へと広げ、戦局を有利に導きました。
問5	答え 3 桜田門外の変	1860年、登城中だった井伊直弼が、水戸藩の浪士らによって襲撃され、殺害されました。これが桜田門外の変です。幕府の最高権力者が白昼堂々と暗殺されたことは、世間に大きな衝撃を与えました。
問6	答え 2 異国船打払令	1825年、江戸幕府は「異国船打払令」を出し、日本に近づく外国船を無条件で攻撃して追い払うよう命じました。これにより、武力による攘夷の姿勢が明確になりました。
問7	答え 1 小判	幕府は金の含有量を減らした新たな小判を铸造し、流通量を増やすことで対応を試みました。しかし、通貨の質が落ちたことは世間に周知され、貨幣に対する信用が低下して経済的混乱を助長しました。
問8	答え 3 日米和親条約	この条約によって、日本はアメリカ船に対する薪（たきぎ）や水、食料の補給を認めることとなりました。また、下田と箱館の二港が開港され、アメリカ領事の駐在も認められました。鎖国体制を根本から覆す歴史的な転換点です。
問9	答え 2 品不足	輸出の増加により国内の在庫が減り、供給が不足しました。さらに、金貨の流出や幕府による貨幣改鑄が重なり、お金の価値が下がって物価が異常なほど高騰しました。庶民にとって不可欠な米の価格も上がり、生活は困窮を極めました。
問10	答え 4 尊王	尊王思想は、天皇をあがめるという考え方です。これに「外国勢力を排除せよ」という攘夷思想が結びつき、「尊王攘夷」という強力な運動が生まれました。幕府の統治に疑問を持つ志士たちの精神的な支柱となりました。
問11	答え 4 大政奉還	坂本龍馬は、内戦を避けて速やかに新しい政府を作るために、幕府自らが政権を返還する大政奉還を提唱しました。土佐藩の山内豊信（容堂）を通じて将軍慶喜に働きかけ、新しい国の形を模索しました。「船中八策」という具体案も作成され、議会政治や公選制なども含まれていました。
問12	答え 2 燃料	薪水給与令に基づき、幕府は日本近海に来航する外国船に対して、薪（燃料）や水、食料を供給し、穏やかに退去させることを命じました。これは、無用な軍事衝突を避け、開国要求を先延ばしにするための消極的な妥協策でした。
問13	答え 2 薩長同盟	坂本龍馬や中岡慎太郎の尽力により、京都で西郷隆盛と木戸孝允が会談し、薩長同盟が成立しました。この同盟により、両藩は武器や物資の融通を行い、強力な軍事力を保持することになりました。
問14	答え 3 蒸気船	太平洋航路の開拓において、日本はちょうどアメリカとアジアの中継地点に位置していました。列強は航行距離を延ばすために、日本を燃料補給基地として利用することを強く望みました。そのため、日本に対し開港を求める圧力が非常に強まりました。
問15	答え 2 西郷隆盛	西郷隆盛は、長州藩の木戸孝允らと密談を重ね、軍事同盟である薩長同盟を成立させました。これにより、倒幕の力は飛躍的に高まりました。彼は武力倒幕の中心人物として、その後も倒幕を強く推進しました。